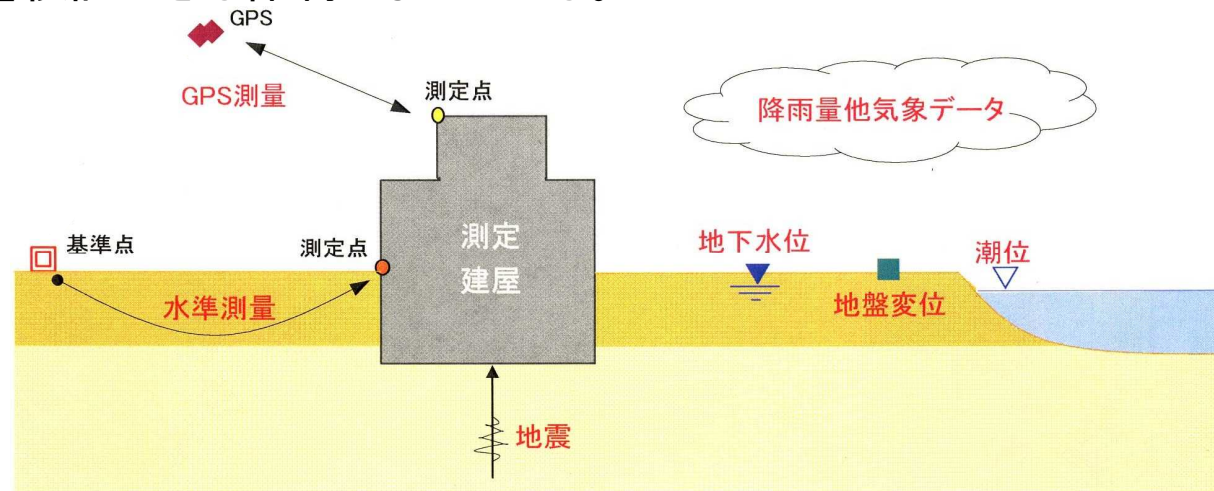


建屋レベルの測定結果(地震後第28回)について

2022年6月
東京電力ホールディングス株式会社

建屋の変動に関する検討

- 原子炉建屋及びタービン建屋の新潟県中越沖地震以降の建屋レベル及び建屋の傾斜の変化量を確認する目的で、年二回の水準測量を実施している。
- 中越沖地震以降これまでに計28回の測量を実施している。
(2008年2月・8月、2009年8月、2010年3月・8月、2011年4月・5月・11月、2012年6月・11月、2013年5月・12月、2014年6月・11月、2015年6月・11月、2016年6・11月、2017年6月・11月、2018年6月・10月、2019年6月・11月、2020年7月、2020年11月、2021年7月、2021年11月)
- 建屋の水準測量と合わせて、建屋レベルの変動に影響を及ぼす可能性のある地下水位、潮位、地盤変位、降雨量等のデータを取得することで、変動が生じた際の要因を検証できる体制となっている。



【測定概念図】

測定方法と誤差

■建屋レベルの測定方法

【手順】

- ①構内基準点から仮ベンチマークの標高を測定
- ②最寄の仮ベンチマークから建屋レベルを測定

■誤差

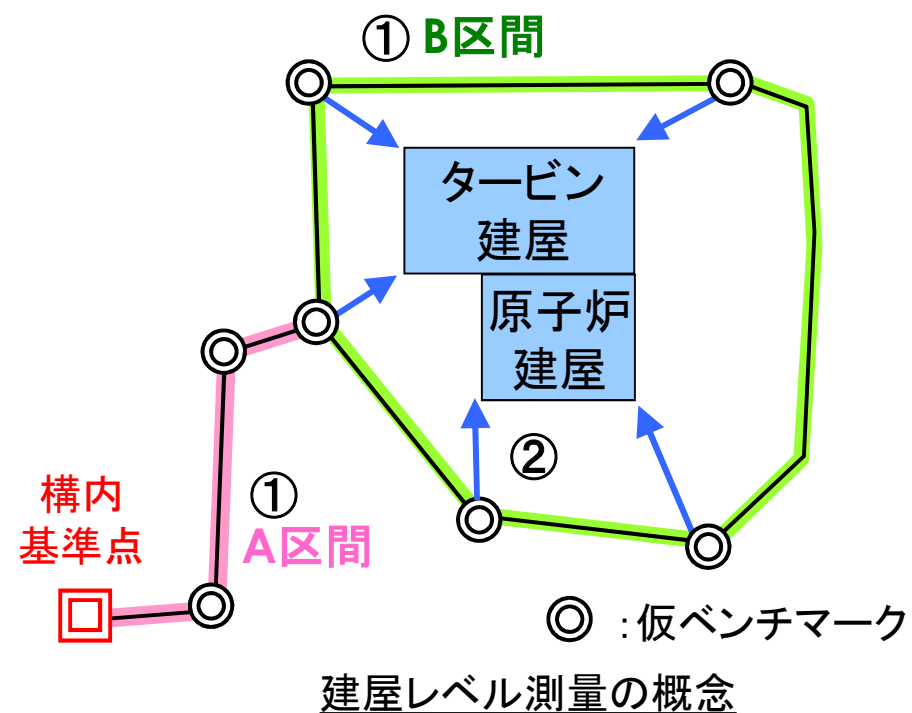
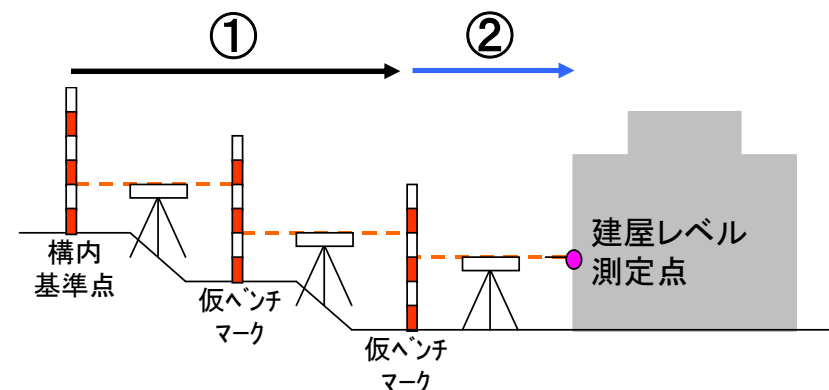
2級水準測量相当にて実施

$$\text{許容誤差 (mm)} = 5\sqrt{S}$$

S: 測量距離 (km)

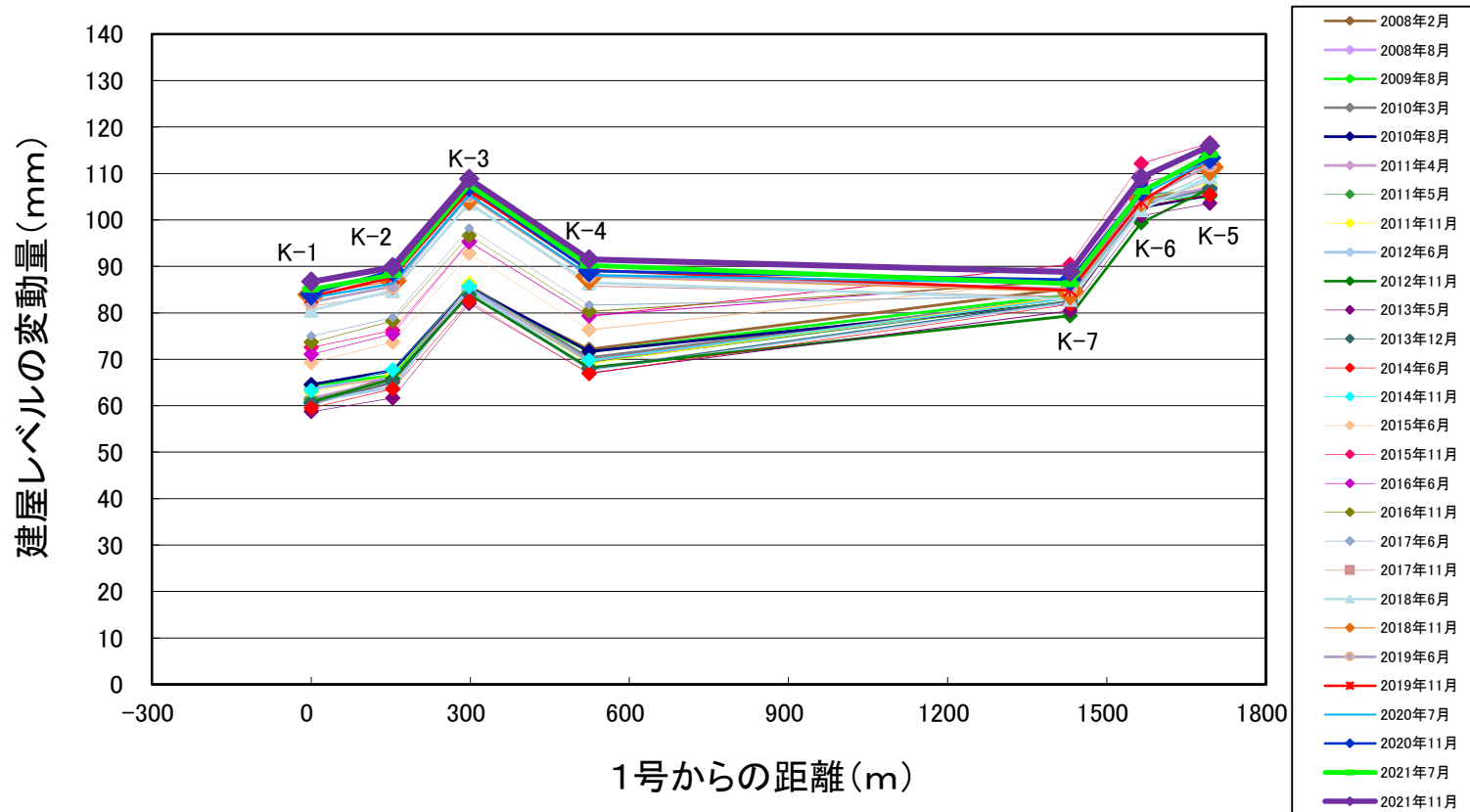
<参考> 2021.11 測量時の基準点路線

区間	測量距離 (km)	許容誤差 (mm)	測量時の誤差 (mm)
構内基準点～1-4号機間	0.681	±4.1	-0.2
1～4号機側	2.303	±7.5	-0.6
1～4号機～5～7号機間	5.759	±11.9	-2.4
5～7号機側	1.350	±5.8	-0.2



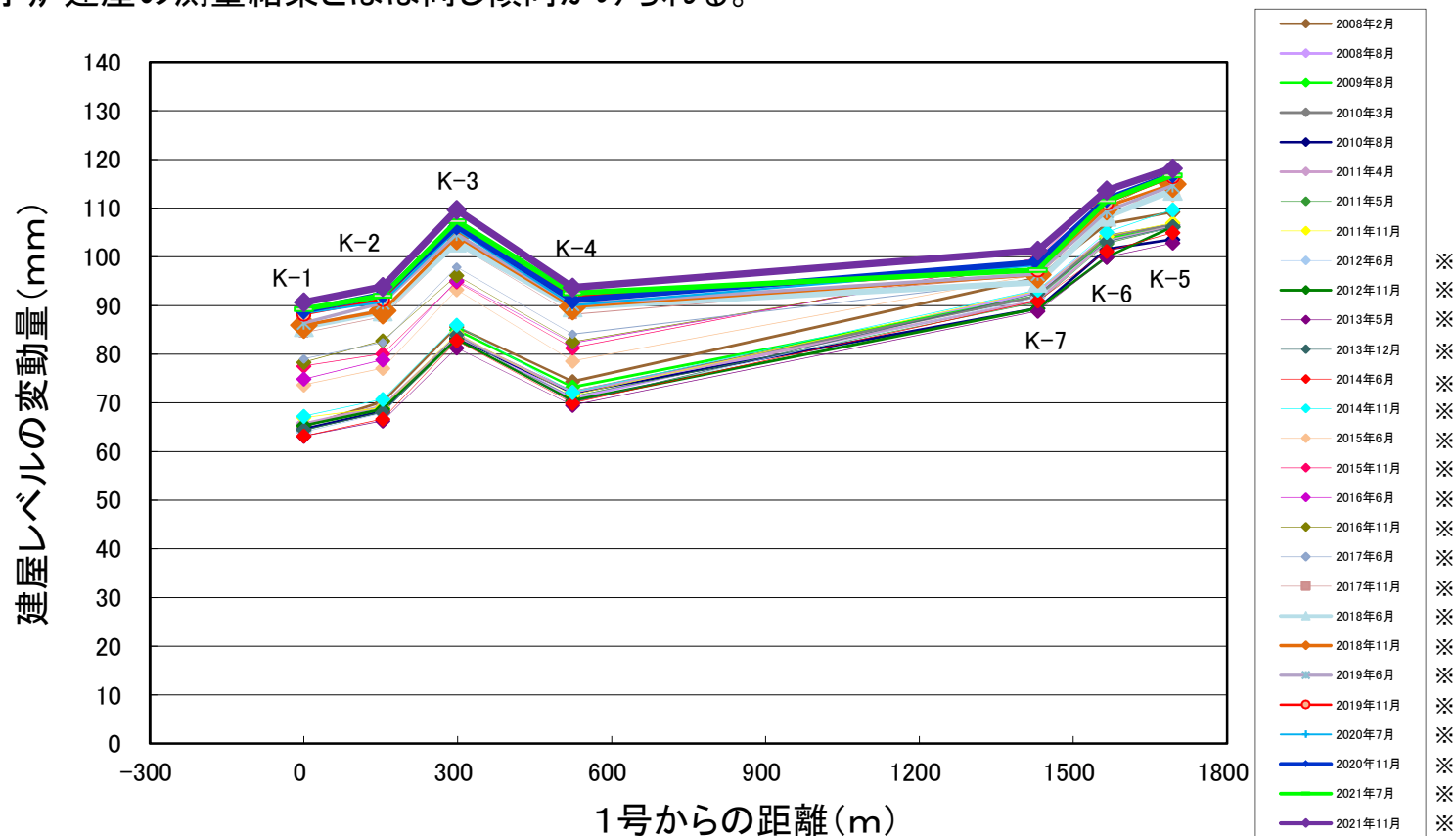
建屋レベルの変動量(地震前からの変動)

- 新潟県中越沖地震直後には各号機約70～110mm程度の建屋レベルの変動が観測された。
- 中越沖地震以降の測定結果の変化は各回5mm以下である。第14回(2014年11月)と第15回(2015年6月)の測定結果にはこれよりやや大きい約7mm程度の変化がみられた。



建屋レベルの変動量(地震前からの変動)

- 原子炉建屋の測量結果とほぼ同じ傾向がみられる。



地震前のレベルに対するタービン建屋の変動量

(2006年5月の測量結果に対する各回の測量結果の比較)

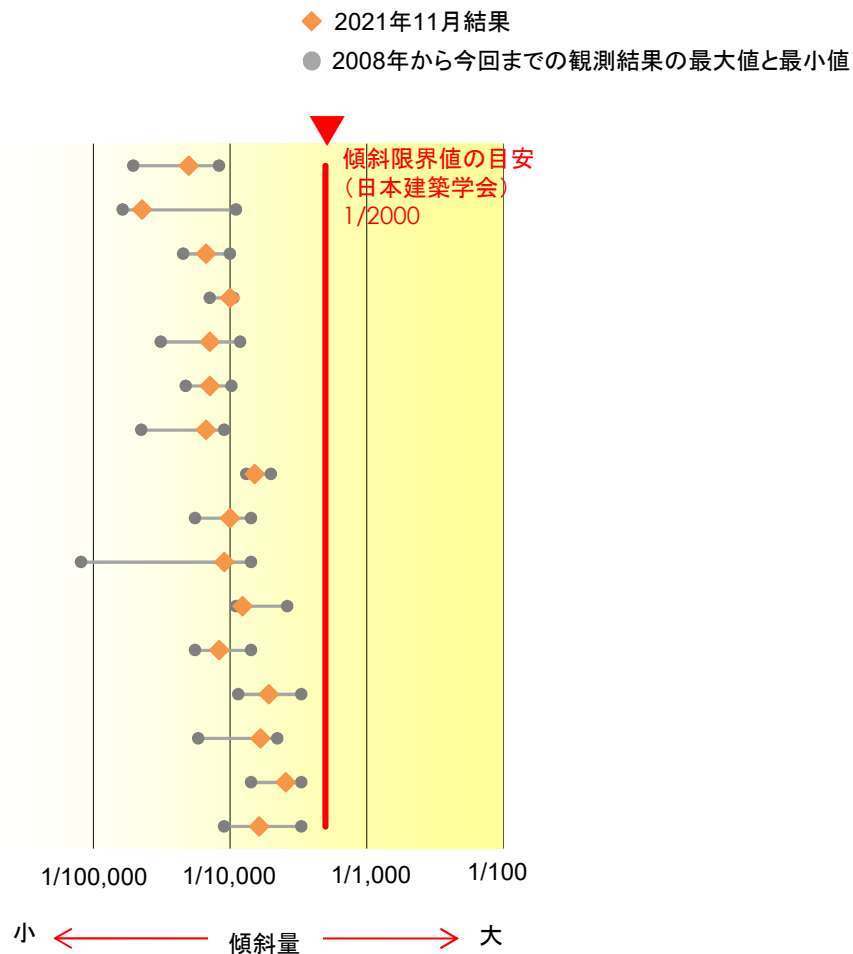
※: 7号機タービン建屋の変動量においては
測定点4点のうち1点は移設したため、
その測定点を除く3点での変動量の平均値

建屋傾斜変化について

■ 新潟県中越沖地震以降の各建屋の傾斜変化は、下記の通りであり、安全上大きな問題となるレベルではない。

各建屋の傾斜変化と2021年11月の観測結果

号機	建屋名
1号機	原子炉建屋
	タービン建屋
2号機	原子炉建屋
	タービン建屋
3号機	原子炉建屋
	タービン建屋
4号機	原子炉建屋
	タービン建屋
5号機	原子炉建屋
	タービン建屋
6号機	原子炉建屋
	タービン建屋
	コントロール建屋
	廃棄物処理建屋
7号機	原子炉建屋
	タービン建屋



新潟県中越沖地震以降、2021年11月までに計28回の建屋水準測量を実施している。

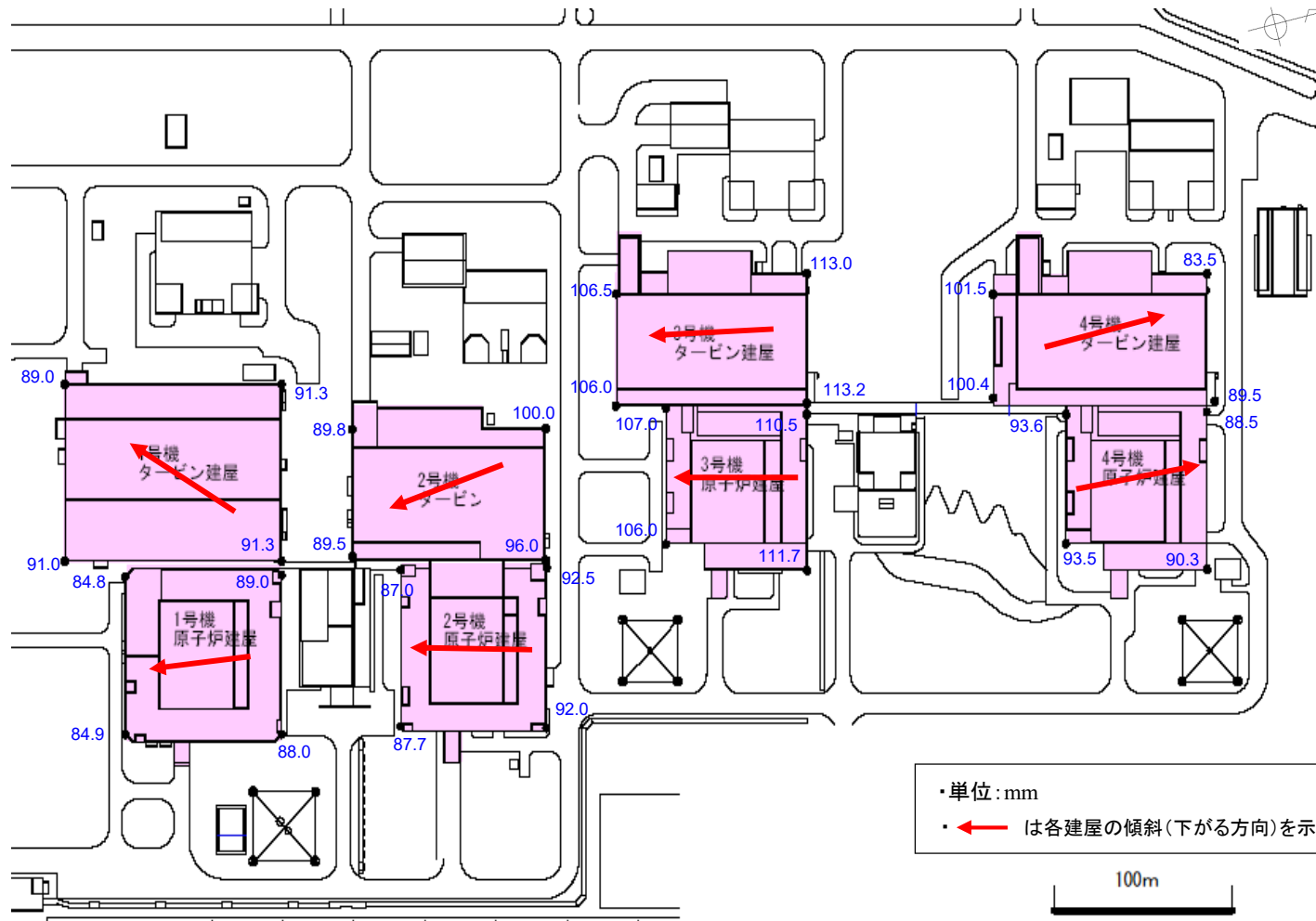
■建屋レベルの変動について

- 新潟県中越沖地震直後には各号機約70～110mm程度の建屋レベルの変動が観測された。
- 中越沖地震以降は測定結果の変化は各回5mm以下である。

■建屋傾斜変化について

- 新潟県中越沖地震以降の各建屋の傾斜変化量は最大でも1/3,000程度に収まっており、安全上大きな問題となるレベルではない。

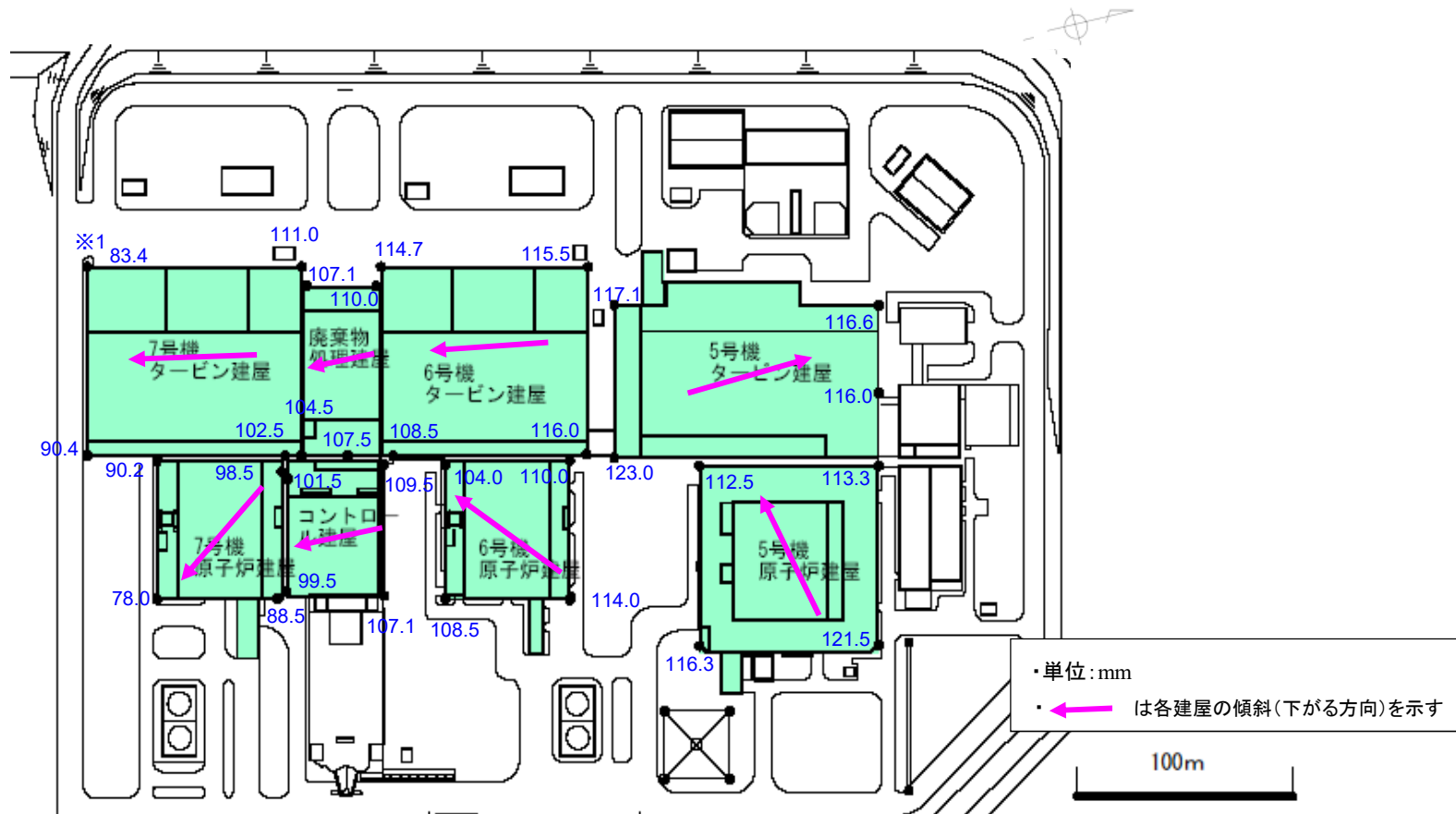
建屋レベル変動図 (地震前→地震後28回目、1～4号機側)



(1～4号機配置図)

・建屋レベル変動図は、地震前水準測量(2006年5月に実施)に対する地震後水準測量第28回(2021年11月に実施)の差分

建屋レベル変動図(地震前→地震後28回目、5～7号機側)



(5～7号機配置図)

※1 : 測定点移設箇所(K7T/B-3) 計1箇所

※2 : 7号機タービン建屋の傾斜においては、測定点移設箇所を除く3点から算出

・建屋レベル変動図は、地震前水準測量(2006年5月に実施)に対する地震後水準測量第28回(2021年11月に実施)の差分

【参考】建屋傾斜変化について(1/2)

号機	測定年月	2008.2		2008.8			2009.8		2010.3		2010.8		2011.4		2011.5		2011.11		2012.6		2012.11		
		A		B		C		D		E		F		G		H		I		J		K	
		①地震前から ②地震後11日目の 傾斜変化最大値		③地震前から ④地震後2日目の 傾斜変化最大値		⑤地震後1日目の 傾斜変化最大値		⑥地震前から ⑦地震後3日目の 傾斜変化最大値		⑧地震後2日目の 傾斜変化最大値		⑨地震前から ⑩地震後4日目の 傾斜変化最大値		⑪地震後3日目の 傾斜変化最大値		⑫地震前から ⑬地震後5日目の 傾斜変化最大値		⑭地震後4日目の 傾斜変化最大値		⑮地震前から ⑯地震後6日目の 傾斜変化最大値		⑰地震後5日目の 傾斜変化最大値	
傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	
1号機	原子炉建屋	約 1/ 25,000	約 1/ 51,000	約 1/ 29,000	約 1/ 15,000	約 1/ 16,000	約 1/ 12,000	約 1/ 68,000	約 1/ 21,000	約 1/ 20,000	約 1/ 22,000	約 1/ 28,000	約 1/ 20,000	約 1/ 22,000	約 1/ 16,000	約 1/ 32,000	約 1/ 18,000	約 1/ 31,000	約 1/ 30,000	約 1/ 25,000			
	タービン建屋	約 1/ 53,000	約 1/ 36,000	約 1/ 34,000	約 1/ 14,000	約 1/ 24,000	約 1/ 30,000	約 1/ 21,000	約 1/ 21,000	約 1/ 42,000	約 1/ 29,000	約 1/ 22,000	約 1/ 35,000	約 1/ 50,000	約 1/ 29,000	約 1/ 27,000	約 1/ 44,000	約 1/ 32,000	約 1/ 44,000	約 1/ 87,000			
2号機	原子炉建屋	約 1/ 14,000	約 1/ 12,000	約 1/ 27,000	約 1/ 13,000	約 1/ 34,000	約 1/ 14,000	約 1/ 83,000	約 1/ 13,000	約 1/ 83,000	約 1/ 15,000	約 1/ 41,000	約 1/ 11,000	約 1/ 27,000	約 1/ 14,000	約 1/ 55,000	約 1/ 12,000	約 1/ 83,000	約 1/ 12,000	約 1/ 83,000			
	タービン建屋	約 1/ 10,000	※1	※1	※1	※1	※1	約 1/ 14,000	約 1/ 14,000	※1	約 1/ 11,000	約 1/ 22,000	約 1/ 11,000	約 1/ 160,000	約 1/ 11,000	約 1/ 1,100,000	約 1/ 9,800	約 1/ 33,000	約 1/ 12,000	約 1/ 33,000			
3号機	原子炉建屋	約 1/ 16,000	約 1/ 18,000	約 1/ 12,000	約 1/ 12,000	約 1/ 16,000	約 1/ 12,000	約 1/ 33,000	約 1/ 8,400	約 1/ 20,000	約 1/ 8,400	約 1/ 16,000	約 1/ 15,000	約 1/ 130,000	約 1/ 30,000	約 1/ 32,000	約 1/ 34,000	約 1/ 24,000	約 1/ 34,000				
	タービン建屋	約 1/ 14,000	約 1/ 11,000	約 1/ 19,000	約 1/ 14,000	約 1/ 26,000	約 1/ 12,000	約 1/ 19,000	約 1/ 9,700	約 1/ 31,000	約 1/ 15,000	約 1/ 20,000	約 1/ 13,000	約 1/ 19,000	約 1/ 15,000	約 1/ 57,000	約 1/ 12,000	約 1/ 27,000	約 1/ 17,000	約 1/ 31,000			
4号機	原子炉建屋	約 1/ 22,000	約 1/ 19,000	約 1/ 15,000	約 1/ 18,000	約 1/ 26,000	約 1/ 44,000	約 1/ 26,000	約 1/ 23,000	約 1/ 50,000	約 1/ 24,000	約 1/ 47,000	約 1/ 25,000	約 1/ 68,000	約 1/ 27,000	約 1/ 61,000	約 1/ 23,000	約 1/ 28,000	約 1/ 25,000	約 1/ 35,000			
	タービン建屋	約 1/ 6,700	約 1/ 7,600	約 1/ 33,000	約 1/ 6,100	約 1/ 31,000	約 1/ 6,300	約 1/ 27,000	約 1/ 6,000	約 1/ 35,000	約 1/ 6,500	約 1/ 48,000	約 1/ 6,400	約 1/ 90,000	約 1/ 6,900	約 1/ 48,000	約 1/ 6,400	約 1/ 79,000	約 1/ 7,200	約 1/ 33,000			
5号機	原子炉建屋	約 1/ 10,000	約 1/ 10,000	約 1/ 32,000	約 1/ 9,100	約 1/ 25,000	約 1/ 10,000	約 1/ 29,000	約 1/ 10,000	約 1/ 83,000	約 1/ 11,000	約 1/ 51,000	約 1/ 11,000	約 1/ 130,000	約 1/ 43,000	約 1/ 10,000	約 1/ 25,000	約 1/ 11,000	約 1/ 11,000	約 1/ 63,000			
	タービン建屋	約 1/ 7,800	約 1/ 7,000	約 1/ 16,000	約 1/ 10,000	約 1/ 20,000	約 1/ 9,600	約 1/ 17,000	約 1/ 11,000	約 1/ 12,000	約 1/ 81,000	約 1/ 10,000	約 1/ 37,000	約 1/ 8,200	約 1/ 14,000	約 1/ 7,200	約 1/ 59,000	約 1/ 8,700	約 1/ 37,000				
6号機	原子炉建屋	約 1/ 5,500	約 1/ 5,500	約 1/ 57,000	約 1/ 5,900	約 1/ 19,000	約 1/ 7,400	約 1/ 22,000	約 1/ 7,600	約 1/ 47,000	約 1/ 5,700	約 1/ 20,000	約 1/ 6,500	約 1/ 30,000	約 1/ 6,700	約 1/ 110,000	約 1/ 5,400	約 1/ 21,000	約 1/ 4,000	約 1/ 15,000			
	タービン建屋	約 1/ 15,000	約 1/ 12,000	約 1/ 19,000	約 1/ 18,000	約 1/ 34,000	約 1/ 14,000	約 1/ 26,000	約 1/ 18,000	約 1/ 48,000	約 1/ 12,000	約 1/ 34,000	約 1/ 14,000	約 1/ 74,000	約 1/ 14,000	約 1/ 130,000	約 1/ 13,000	約 1/ 39,000	約 1/ 11,000	約 1/ 16,000			
	コントロール建屋	約 1/ 4,200	約 1/ 4,400	約 1/ 12,000	約 1/ 4,500	約 1/ 46,000	約 1/ 4,200	約 1/ 40,000	約 1/ 4,800	約 1/ 32,000	約 1/ 4,800	約 1/ 62,000	約 1/ 5,000	約 1/ 32,000	約 1/ 4,000	約 1/ 20,000	約 1/ 3,800	約 1/ 41,000	約 1/ 4,400	約 1/ 17,000			
7号機	原子炉建屋	約 1/ 5,000	約 1/ 4,800	約 1/ 63,000	約 1/ 4,700	約 1/ 52,000	約 1/ 4,700	約 1/ 33,000	約 1/ 4,700	約 1/ 81,000	約 1/ 5,200	約 1/ 35,000	約 1/ 5,200	約 1/ 110,000	約 1/ 6,000	約 1/ 21,000	約 1/ 5,500	約 1/ 38,000	約 1/ 5,700	約 1/ 41,000			
	タービン建屋	約 1/ 10,000	約 1/ 9,500	約 1/ 42,000	約 1/ 8,300	約 1/ 33,000	約 1/ 9,800	約 1/ 24,000	約 1/ 6,700	約 1/ 17,000	約 1/ 9,800	約 1/ 21,000	約 1/ 8,500	約 1/ 46,000	約 1/ 7,700	約 1/ 20,000	約 1/ 11,000 ^{※1}	約 1/ 25,000	約 1/ 7,200 ^{※2}	約 1/ 20,000			

□ : 各回における傾斜変化最大値

- ※1: 地震後2回目(2008.8)～地震後4回目(2010.3)の計測時に変圧器周辺の作業により測定できない箇所があるため算出不可
- ※2: K7-T/Bについては移設(2012.5)された測定点(K7-T/B-3)を除いた最大傾斜変化値
- ※3: K6-R/Bについては建屋周辺工事により測量不能箇所であった測定点(K6-R/B-4)を除いた最大傾斜変化値
- ※4: K7-T/Bについては建屋周辺工事により測量不能箇所であった測定点(K7-T/B-1)を除いた最大傾斜変化値
- ※5: K6-R/BおよびK7-T/Bについては前々回の測定結果を用いた最大傾斜変化値

号機	測定年月	2013.5		2013.12		2014.6		2014.11		2015.6		2015.11		2016.6	
		T		U		V		W		X		Y		Z	
		①地震前から ②地震後11日目の 傾斜変化最大値		③地震後10日目の 傾斜変化最大値		④地震後12日目の 傾斜変化最大値		⑤地震後11日目の 傾斜変化最大値		⑥地震前から ⑦地震後12日目の 傾斜変化最大値		⑧地震後13日目の 傾斜変化最大値		⑨地震後14日目の 傾斜変化最大値	
傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜	傾斜
1号機	原子炉建屋	約 1/ 24,000	約 1/ 31,000	約 1/ 27,000	約 1/ 27,000	約 1/ 220,000	約 1/ 18,000	約 1/ 38,000	約 1/ 18,000	約 1/ 180,000	約 1/ 25,000	約 1/ 35,000	約 1/ 38,000	約 1/ 44,000	
	タービン建屋	約 1/ 28,000	約 1/ 40,000	約 1/ 44,000	約 1/ 87,000	約 1/ 35,000	約 1/ 67,000	約 1/ 44,000	約 1/ 61,000	約 1/ 44,000	約 1/ 130,000	約 1/ 29,000	約 1/ 55,000	約 1/ 39,000	約 1/ 55,000
2号機	原子炉建屋	約 1/ 16,000	約 1/ 41,000	約 1/ 12,000	約 1/ 27,000	約 1/ 13,000	約 1/ 20,000	約 1/ 12,000	約 1/ 20,000	約 1/ 11,000	約 1/ 27,000	約 1/ 22,000	約 1/ 23,000	約 1/ 12,000	約 1/ 19,000
	タービン建屋	約 1/ 13,000	約 1/ 33,000	約 1/ 10,000	約 1/ 29,000	約 1/ 11,000	約 1/ 33,000	約 1/ 11,000	約 1/ 64,000	約 1/ 11,000	約 1/ 33,000	約 1/ 10,000	約 1/ 51,000	約 1/ 9,400	約 1/ 28,000
3号機	原子炉建屋	約 1/ 14,000	約 1/ 16,000	約 1/ 28,000	約 1/ 16,000	約 1/ 14,000	約 1/ 16,000	約 1/ 16,000	約 1/ 17,000	約 1/ 14,000	約 1/ 40,000	約 1/ 20,000	約 1/ 35,000	約 1/ 22,000	約 1/ 22,000
	タービン建屋	約 1/ 12,000	約 1/ 22,000	約 1/ 15,000	約 1/ 19,000	約 1/ 11,000	約 1/ 19,000	約 1/ 19,000	約 1/ 26,000	約 1/ 16,000	約 1/ 53,000	約 1/ 17,000	約 1/ 100,000	約 1/ 11,000	約 1/ 24,000
4号機	原子炉建屋	約 1/ 21,000	約 1/ 130,000	約 1/ 24,000	約 1/ 52,000	約 1/ 28,000	約 1/ 50,000	約 1/ 21,000	約 1/ 50,000	約 1/ 28,000	約 1/ 36,000	約 1/ 19,000	約 1/ 32,000	約 1/ 31,000	約 1/ 40,000
	タービン建屋	約 1/ 6,800	約 1/ 31,000	約 1/ 6,900	約 1/ 77,000	約 1/ 6,200	約 1/ 60,000	約 1/ 7,000	約 1/ 31,000	約 1/ 6,500	約 1/ 28,000	約 1/ 6,800	約 1/ 33,000	約 1/ 7,000	約 1/ 20,000
5号機	原子炉建屋	約 1/ 9,100	約 1/ 36,000	約 1/ 10,000	約 1/ 75,000	約 1/ 9,600	約 1/ 83,000	約 1/ 10,000	約 1/ 48,000	約 1/ 9,700	約 1/ 69,000	約 1/ 12,000	約 1/ 43,000	約 1/ 14,000	約 1/ 19,000
	タービン建屋	約 1/ 11,000	約 1/ 24,000	約 1/ 9,400	約 1/ 14,000	約 1/ 9,500	約 1/ 34,000	約 1/ 9,800	約 1/ 140,000	約 1/ 10,000	約 1/ 102,000	約 1/ 7,500	約 1/ 21,000	約 1/ 11,000	約 1/ 23,000
6号機	原子炉建屋	約 1/ 4,400	約 1/ 25,000	約 1/ 4,800	約 1/ 13,000	約 1/ 4,700	約 1/ 58,000	約 1/ 4,200	約 1/ 18,000	約 1/ 4,800	約 1/ 19,000	約 1/ 3,800 ^{※3}	約 1/ 18,000 ^{※3}	約 1/ 8,100	約 1/ 5,200 ^{※5}
	タービン建屋	約 1/ 15,000	約 1/ 35,000	約 1/ 13,000	約 1/ 31,000	約 1/ 12,000	約 1/ 17,000	約 1/ 12,000	約 1/ 20,000	約 1/ 18,000	約 1/ 25,000	約 1/ 11,000	約 1/ 24,000	約 1/ 17,000	約 1/ 32,000
	コントロール建屋	約 1/ 4,000	約 1/ 42,000	約 1/ 3,900	約 1/ 180,000	約 1/ 4,000	約 1/ 45,000	約 1/ 4,400	約 1/ 21,000	約 1/ 4,100	約 1/ 21,000	約 1/ 4,200	約 1/ 21,000	約 1/ 4,100	約 1/ 10,000
7号機	原子炉建屋	約 1/ 6,100	約 1/ 41,000	約 1/ 6,000	約 1/ 95,000	約 1/ 5,600	約 1/ 32,000	約 1/ 5,200	約 1/ 38,000	約 1/ 6,400	約 1/ 20,000	約 1/ 7,000	約 1/ 48,000	約 1/ 4,300	約 1/ 10,000
	タービン建屋	約 1/ 9,000 ^{※2}	約 1/ 20,000	約 1/ 7,900 ^{※2}	約 1/ 35,000	約 1/ 10,000 ^{※2}	約 1/ 32,000	約 1/ 6,600 ^{※2}	約 1/ 20,000	約 1/ 6,900 ^{※2}	約 1/ 160,000	約 1/ 7,600 ^{※2,4}	約 1/ 30,000 ^{※4}	約 1/ 6,500 ^{※2}	約 1/ 19,000



【参考】建屋傾斜変化について(2/2)

号機	測定年月	2016.11		2017.6		2017.11		2018.6		2018.11		2019.6		2019.10		2020.7		2020.11	
		AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX	AY
		②地震前から ④地震後18回目的 傾斜変化最大値	③地震後17回目的 から ④地震後18回目的 の傾斜変化最大値	②地震前から ④地震後19回目的 の傾斜変化最大値	③地震後18回目的 から ④地震後19回目的 の傾斜変化最大値	②地震前から ④地震後20回目的 の傾斜変化最大値	③地震後19回目的 から ④地震後20回目的 の傾斜変化最大値	②地震前から ④地震後21回目的 の傾斜変化最大値	③地震後20回目的 から ④地震後21回目的 の傾斜変化最大値	②地震前から ④地震後22回目的 の傾斜変化最大値	③地震後21回目的 から ④地震後22回目的 の傾斜変化最大値	②地震前から ④地震後23回目的 の傾斜変化最大値	③地震後22回目的 から ④地震後23回目的 の傾斜変化最大値	②地震前から ④地震後24回目的 の傾斜変化最大値	③地震後23回目的 から ④地震後24回目的 の傾斜変化最大値	②地震前から ④地震後25回目的 の傾斜変化最大値	③地震後24回目的 から ④地震後25回目的 の傾斜変化最大値	②地震前から ④地震後26回目的 の傾斜変化最大値	③地震後25回目的 から ④地震後26回目的 の傾斜変化最大値
1号機	原子炉建屋	約 1/29,000	約 1/20,000	約 1/20,000	約 1/23,000	約 1/35,000	約 1/20,000	約 1/30,000	約 1/41,000	約 1/20,000	約 1/44,000	約 1/22,000	約 1/58,000	約 1/38,000	約 1/43,000	約 1/38,000	約 1/88,000	約 1/22,000	約 1/49,000
	タービン建屋	約 1/39,000	約 1/44,000	約 1/58,000	約 1/98,000	約 1/55,000	約 1/67,000	約 1/44,000	約 1/89,000	約 1/44,000	約 1/110,000	約 1/40,000	約 1/44,000	約 1/30,000	約 1/89,000	約 1/30,000	約 1/203,000	約 1/30,000	約 1/170,000
2号機	原子炉建屋	約 1/12,000	約 1/83,000	約 1/10,000	約 1/27,000	約 1/17,000	約 1/27,000	約 1/15,000	約 1/30,000	約 1/12,000	約 1/58,000	約 1/14,000	約 1/48,000	約 1/17,000	約 1/58,500	約 1/19,000	約 1/83,000	約 1/14,000	約 1/38,000
	タービン建屋	約 1/13,000	約 1/25,000	約 1/12,000	約 1/74,000	約 1/11,000	約 1/33,000	約 1/11,000	約 1/67,000	約 1/12,000	約 1/22,000	約 1/12,000	約 1/67,000	約 1/13,000	約 1/67,000	約 1/13,000	約 1/67,000	約 1/11,000	約 1/34,000
3号機	原子炉建屋	約 1/27,000	約 1/34,000	約 1/17,000	約 1/26,000	約 1/20,000	約 1/23,000	約 1/16,000	約 1/35,000	約 1/19,000	約 1/34,000	約 1/17,000	約 1/68,000	約 1/14,000	約 1/53,000	約 1/34,000	約 1/23,000	約 1/23,000	約 1/23,000
	タービン建屋	約 1/21,000	約 1/20,000	約 1/15,000	約 1/27,000	約 1/15,000	約 1/37,000	約 1/13,000	約 1/35,000	約 1/14,000	約 1/27,000	約 1/13,000	約 1/35,000	約 1/16,000	約 1/44,000	約 1/14,000	約 1/53,000	約 1/16,000	約 1/630,000
4号機	原子炉建屋	約 1/18,000	約 1/34,000	約 1/20,000	約 1/37,000	約 1/11,000	約 1/24,000	約 1/12,000	約 1/54,000	約 1/18,000	約 1/29,000	約 1/13,000	約 1/52,000	約 1/18,000	約 1/57,000	約 1/14,000	約 1/57,000	約 1/21,000	約 1/110,000
	タービン建屋	約 1/6,200	約 1/9,300	約 1/6,000	約 1/17,000	約 1/6,000	約 1/16,000	約 1/6,000	約 1/35,000	約 1/6,000	約 1/35,000	約 1/5,000	約 1/43,000	約 1/6,000	約 1/109,000	約 1/23,000	約 1/6,700	約 1/34,000	
5号機	原子炉建屋	約 1/10,000	約 1/12,000	約 1/13,000	約 1/15,000	約 1/15,000	約 1/14,000	約 1/14,000	約 1/41,000	約 1/13,000	約 1/37,000	約 1/13,000	約 1/28,000	約 1/10,000	約 1/28,000	約 1/12,000	約 1/29,000	約 1/15,000	約 1/25,000
	タービン建屋	約 1/19,000	約 1/20,000	約 1/14,000	約 1/45,000	約 1/10,000	約 1/21,000	約 1/18,000	約 1/20,000	約 1/11,000	約 1/24,000	約 1/17,000	約 1/30,000	約 1/123,000	約 1/18,000	約 1/13,000	約 1/13,000	約 1/19,000	約 1/19,000
6号機	原子炉建屋	約 1/6,200	約 1/19,000	約 1/8,000	約 1/14,000	約 1/6,000	約 1/19,000	約 1/9,000	約 1/19,000	約 1/7,000	約 1/19,000	約 1/8,000	約 1/57,000	約 1/8,000	約 1/57,000	約 1/7,000	約 1/19,000	約 1/8,100	約 1/29,000
	タービン建屋	約 1/9,000	約 1/15,000	約 1/13,000	約 1/19,000	約 1/9,000	約 1/17,000	約 1/9,000	約 1/82,000	約 1/10,000	約 1/27,000	約 1/9,000	約 1/60,000	約 1/8,000	約 1/16,000	約 1/10,000	約 1/16,000	約 1/9,300	約 1/27,000
	コントロール建屋	約 1/8,700	約 1/5,200	約 1/5,000	約 1/13,000	約 1/4,000	約 1/10,000	約 1/4,000	約 1/14,000	約 1/4,000	約 1/53,000	約 1/4,000	約 1/56,000	約 1/3,000	約 1/23,000	約 1/5,000	約 1/8,000	約 1/4,400	約 1/17,000
	廃棄物処理建屋	約 1/6,000	約 1/18,000	約 1/26,000	約 1/6,000	約 1/15,000	約 1/6,000	約 1/60,000	約 1/130,000	約 1/6,000	約 1/60,000	約 1/6,000	約 1/60,000	約 1/32,000	約 1/6,000	約 1/6,000	約 1/29,000	約 1/4,500	約 1/17,000
7号機	原子炉建屋	約 1/4,100	約 1/22,000	約 1/4,000	約 1/28,000	約 1/3,000	約 1/11,000	約 1/4,000	約 1/27,000	約 1/4,000	約 1/23,000	約 1/4,000	約 1/22,000	約 1/4,000	約 1/19,000	約 1/5,000	約 1/18,000	約 1/4,400	約 1/11,000
	タービン建屋	約 1/4,700	約 1/11,000	約 1/3,000	約 1/11,000	約 1/6,000	約 1/16,000	約 1/6,000	約 1/74,000	約 1/3,000	約 1/41,000	約 1/3,000	約 1/55,000	約 1/4,000	約 1/27,000	約 1/4,000	約 1/27,000	約 1/6,100	約 1/27,000

号機	測定年月	2021.7		2021.11		
		BA	BB	BC	BD	BE
		②地震前から ④地震後27回目的 の傾斜変化最大値	③地震後26回目的 から ④地震後27回目的 の傾斜変化最大値	②地震前から ④地震後28回目的 の傾斜変化最大値	③地震後27回目的 から ④地震後28回目的 の傾斜変化最大値	当初測定から ④地震後28回目的 の傾斜変化最大値
1号機	原子炉建屋	約 1/36,000	約 1/35,000	約 1/20,000	約 1/29,000	約 1/22,000
	タービン建屋	約 1/61,000	約 1/44,000	約 1/44,000	約 1/89,000	約 1/9,000
2号機	原子炉建屋	約 1/12,000	約 1/16,000	約 1/15,000	約 1/20,000	約 1/11,000
	タービン建屋	約 1/10,000	約 1/22,000	約 1/10,000	約 1/33,000	約 1/10,000
3号機	原子炉建屋	約 1/12,000	約 1/23,000	約 1/14,000	約 1/40,000	約 1/10,000
	タービン建屋	約 1/15,000	約 1/310,000	約 1/14,000	約 1/100,000	約 1/16,000
4号機	原子炉建屋	約 1/13,000	約 1/38,000	約 1/15,000	約 1/72,000	約 1/21,000
	タービン建屋	約 1/5,900	約 1/43,000	約 1/6,600	約 1/57,000	約 1/5,800
5号機	原子炉建屋	約 1/11,000	約 1/15,000	約 1/10,000	約 1/19,000	約 1/7,300
	タービン建屋	約 1/7,300	約 1/12,000	約 1/11,000	約 1/22,000	約 1/7,700
6号機	原子炉建屋	約 1/5,700	約 1/9,500	約 1/8,100	約 1/14,000	約 1/9,000
	タービン建屋	約 1/8,400	約 1/16,000	約 1/12,000	約 1/24,000	約 1/10,000
	コントロール建屋	約 1/4,300	約 1/28,000	約 1/5,200	約 1/18,000	約 1/4,600
	廃棄物処理建屋	約 1/6,000	約 1/18,000	約 1/6,000	約 1/33,000	約 1/7,400
7号機	原子炉建屋	約 1/4,600	約 1/28,000	約 1/3,900	約 1/11,000	約 1/4,700
	タービン建屋	約 1/6,100	約 1/80,000	約 1/6,100	約 1/91,000	約 1/6,300

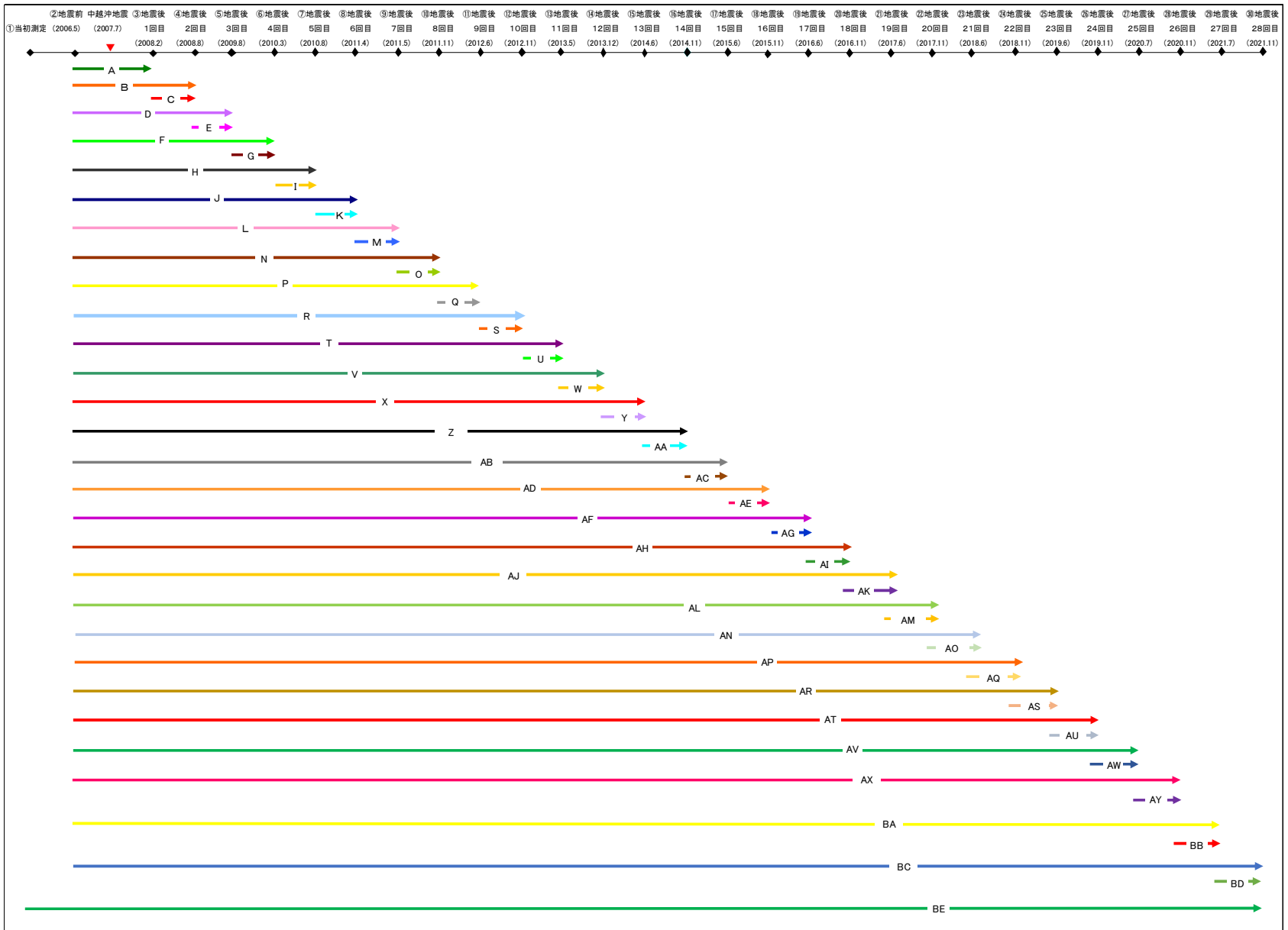
：各回における傾斜変化量最大値(※の箇所については最大傾斜変化値の選定から除く)

- ※2: K7-T/Bについては移設(2012.5)された測定点(K7-T/B-3)を除いた最大傾斜変化値
- ※6: K6-C/B-4については、前回の測定結果を用いた最大傾斜変化値
- ※7: K6-R/B-4については、前回の測定結果を用いた最大傾斜変化値
- ※8: K6-T/B-4については、前回の測定結果を用いた最大傾斜変化値
- ※9: K7-R/B-2については、地震後25回目(2020.7)の測定結果を用いた最大傾斜変化値

今回測定値



【参考】建屋傾斜変化の比較



【参考】測定点間の許容誤差

■測定点間の許容誤差(傾斜変化)の算定例

許容誤差(mm) = $5\sqrt{S}$ (2級水準測量相当)

S: 仮ベンチマークから測定点間の測量距離

①の許容誤差を算出: $5\sqrt{a}$



②の許容誤差を算出: $5\sqrt{b}$



傾斜変化の許容誤差を算出: $(5\sqrt{a} + 5\sqrt{b}) / \text{①} \sim \text{②} \text{間距離}$

